

Business REPORT

2022年3月期

報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

トラストファーマテック 2022年4月1日 始動

なによりも
健やかな暮らしのために



トラストファーマテック株式会社 清間第一工場

人々の健康に貢献するイノベーターとして

代表取締役社長
グループ最高執行責任者
(グループCOO)兼
グループ管理統括役員
(グループCAO)
末吉 一彦



代表取締役会長
グループ最高経営責任者
(グループCEO)
澤井 光郎



代表取締役副会長
グループブランド担当役員
(グループCBO)
澤井 健造



セグメント別の概況

セグメント別の業績は次のとおりです。

日本セグメント

日本セグメントでは、ジェネリック医薬品全体で供給不安が発生するなか、2021年9月には厚生労働省が「医薬品産業ビジョン2021」を発表し、医薬品の品質および供給体制の安定化こそがジェネリック医薬品産業および企業の優先課題であるとの見解を示しました。こうしたなか当社グループでは「品質管理の一層の強化」とともに、「安定供給力の強化」「新製品の売上増加」に注力し、国内ジェネリック業界のリーディングカンパニーとして業界全体の信頼回復に取り組んでおります。

なかでも生産・供給体制面におきましては、ジェネリック医薬品の需要拡大をうけ、2021年10月には中核会社である沢井製薬第二九州工場の敷地内に30億錠の生産能力を持つ新たな固形剤棟の建設を決定し、さらに2021年12月には、小林化工株式会社の生産活動に係る資産および関連部門人員を新たに設立したトラストファーマテック株式会社へ譲り受けすることで合意し、譲渡契約を締結しました。今後も生産体制の強化に注力し、年間自社生産能力200億錠以上の早期実現を図ります。

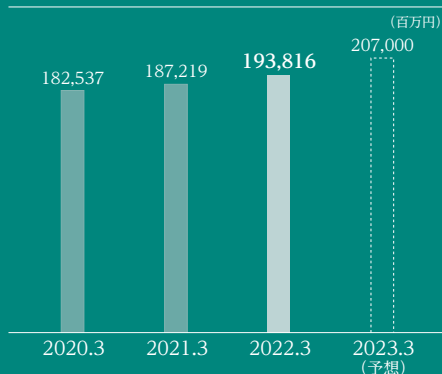
また、2021年11月には東日本第2物流センターを、2022年2月に

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。当社グループでは「なによりも健やかな暮らしのために」の理念のもと、ジェネリック医薬品事業を中核に、社会とともに持続的に発展するヘルスケア企業グループとして、ひとりでも多くの人々の健康に貢献してまいります。

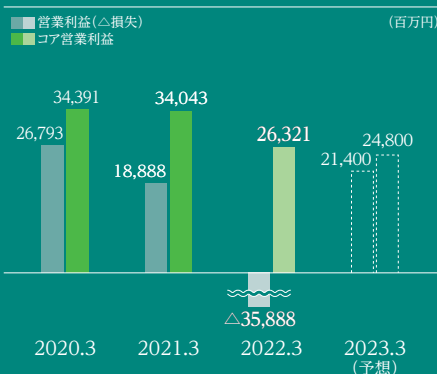
IFRS基準に基づいた、当社グループの2022年3月期の連結会計年度の業績は、米国事業での減損損失の発生により売上収益193,816百万円(前期比3.5%増)、営業損失35,888百万円(前期は18,888百万円の利益)、税引前当期損失36,214百万円(前期は18,460百万円の利益)、親会社の所有者に帰属する当期損失28,269百万円(前期は12,340百万円の利益)となりました。なお、経常的な収益指標であるコア営業利益は26,321百万円(前期比22.7%減)となりました。

2022年3月期のハイライト

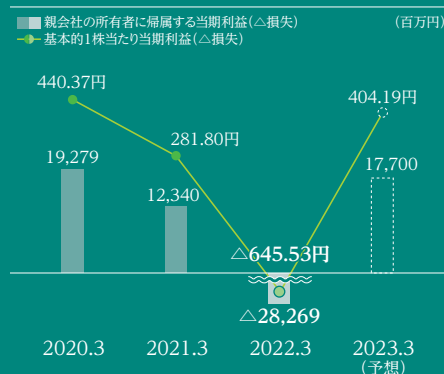
売上収益



営業利益(△損失)/コア営業利益



親会社の所有者に帰属する当期利益(△損失)/基本的1株当たり当期利益(△損失)



社会とともに持続的な成長を果たします

は西日本第2物流センターを開設・稼働し、生産面だけでなく物流面での供給体制も強化しております。

製品開発・販売面においては、2021年6月に8成分23品目を発売し、12月に『レベチラセタム錠』を含む5成分9品目が新たに薬価収載されました。

こうした結果、日本セグメントにおける売上収益は163,841百万円(前期比6.7%増)、セグメント利益は32,361百万円(前期比23.1%増)、コア営業利益は27,016百万円(前期比10.7%減)となりました。

米国セグメント

米国セグメントでは、卸・薬局等の3大購買グループへの集約や、米国食品医薬品局(FDA)の積極的な医薬品簡略承認申請(ANDA)承認施策等の影響により、激しい市場競争環境が続きました。

こうしたなか、2021年5月に『モキシフロキサシン点眼液』を、6月に『イトレチノインカプセル』を、8月に『カルバマゼピン徐放錠』を発売し、順調に上市製品を拡充しております。

また、同年4月にはUpsher-Smith Laboratories, LLCデンバー工場(コロラド州)のセール・アンド・リースバック取引を実施し、当該工場の製品を本社隣接の新工場(ミネソタ州)に集約することで、さらなる品質・生産効率の向上に努めてまいります。

こうした結果、米国セグメントにおける売上収益は29,975百万円(前期比10.9%減)、セグメント損失については将来計画を見直した結果、のれんをはじめとした米国セグメントの資産について減損損失68,770百万円を認識することとなり、セグメント損失は68,249百万円(前期比822.8%減)となりました。また、コア営業損失は708百万円(前期は3,765百万円の利益)となりました。

今後の見通し

国内ではジェネリックシェア80%時代を迎える一方、毎年薬価改定によって従来以上の薬価の下落が懸念されます。こうした厳しい経営環境下においても安定した企業成長を図るため、「生産能力

の一層の強化」と「他社に先駆けて高付加価値ジェネリック医薬品を開発・上市するスピード感」を実現し、ブランド価値の向上と競争力の強化に努めてまいります。

また、市場ニーズに応じて今後は「デジタル・医療機器事業」「オーファン医薬品事業」「健康食品事業」の3つの新規事業へ当社グループのリソースを集中いたします。

さらに新たな取り組みとしましては、沢井製薬がこれまでに開発してまいりました「お薬の服用を快適にする技術」「お薬をより効率的に製造する技術」など、お薬に付加価値をプラスし、製剤上のハーモニーを生み出す製剤化技術の一部を「SAWAI HARMOTECH®」と名付け、2022年2月より公開をはじめました。高い技術力を周知するとともに、お薬がより飲みやすく、より扱いやすく、より親しみやすくなる未来を目指します。

ウクライナへの人道支援を実施

生命関連企業の一員として、ウクライナで被害に遭われた方々やその周辺地域への避難を余儀なくされている方々への人道的支援として、国連児童基金(ユニセフ)を通じて2,000万円を寄付させていただきました。

ユニセフより授与された感謝状▶



詳細はホームページに掲載されている「IR情報」をご覧ください。

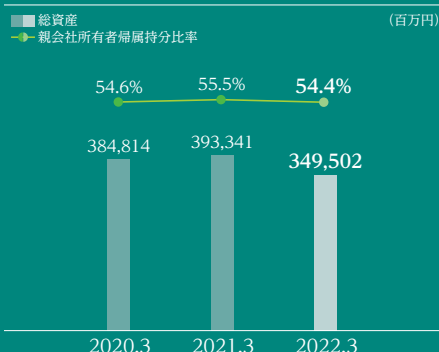
こちらのQRコードからもアクセス!



<https://www.sawai-group.holdings/ir/>

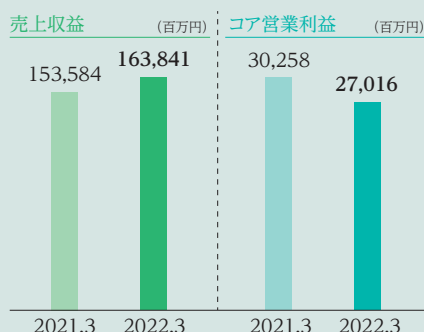
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

総資産／親会社所有者帰属持分比率

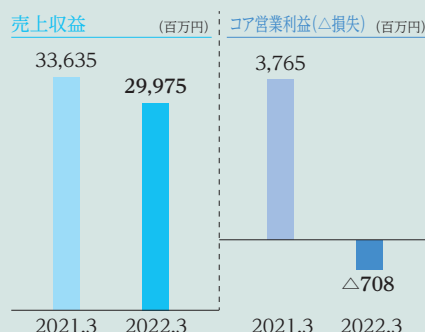


※2021年3月期までは沢井製薬株式会社の実績

日本セグメント



米国セグメント



※セグメント別業績は調整があるため、全体の計数とは一致いたしません。

サワイグループホールディングス企業理念

なによりも健やかな暮らしのために

サワイグループの企業理念「なによりも健やかな暮らしのために」には、ジェネリック医薬品事業を中核に、社会とともに持続的に発展するヘルスケア企業グループとして、ひとりでも多くの人々の健康に貢献していきたいという願いを込めています。グループ全社員の力を結集し、すべてのステークホルダーの皆さまの期待に応えるべく挑戦してまいります。

サワイグループマインド



サワイグループは、真心を込めてあらゆるステークホルダーに対応します

サワイグループは、より多くの人々のヘルスケアアクセス向上に挑戦し続けます

サワイグループは、社会に貢献することで、なくてはならない存在になることを願います

サワイグループビジョン

より多くの人々が身近にヘルスケアサービスを受けられ、社会の中で安心して生き生きと暮らせる世界を目指し、人々が健康で持続可能な社会の実現に貢献し続けます。

【沢井製薬】 New Products

2022年6月に5成分11品目の新製品を薬価収載

非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤・高尿酸血症治療剤『フェブキソスタット「サワイ」』は、錠剤に加え高尿酸血症治療剤として初となる口腔内崩壊錠(OD錠)の2剤形を発売いたします。錠剤は10mg、20mg、40mgの3規格、OD錠は10mg、20mgの2規格でメントール様芳香を有しております。

骨髄異形成症候群・急性骨髄性白血病治療剤『アザシチジン注射用100mg「サワイ」』は、バイアルにプロテクター及びシュリンク包装を行うとともに、プラスチックキャップに成分名・含量を表示し医療従

事者の安全性・利便性を考慮した製剤となっております。

骨粗鬆症治療剤『テリパラチド皮下注用56.5μg「サワイ」』は、生理食塩液1mL(シリンジ)及び直接手で触れることなくシリンジと接続可能な透明のバイアルコネクターが付属するキット製剤です。

その他、抗精神病剤『アリピプラゾール錠1mg/内用液1mg分包「サワイ」』、抗悪性腫瘍剤・チロシキンナーゼインヒビター『ダサチニブ錠20mg/50mg「サワイ」』も含め全5成分11品目を薬価収載いたします。

非プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤・高尿酸血症治療剤



フェブキソスタット錠
10mg「サワイ」



フェブキソスタット錠
20mg「サワイ」



フェブキソスタット錠
40mg「サワイ」



フェブキソスタットOD錠
10mg「サワイ」



フェブキソスタットOD錠
20mg「サワイ」



アザシチジン注射用
100mg「サワイ」

骨髄異形成症候群・急性骨髄性白血病治療剤

骨粗鬆症治療剤



テリパラチド皮下注用
56.5μg「サワイ」



テリパラチド添付溶解液
生理食塩液1mLシリンジ
及びバイアルコネクター同梱

抗精神病剤



アリピプラゾール錠
1mg「サワイ」



アリピプラゾール
内用液1mg分包
「サワイ」

抗悪性腫瘍剤



ダサチニブ錠20mg
「サワイ」



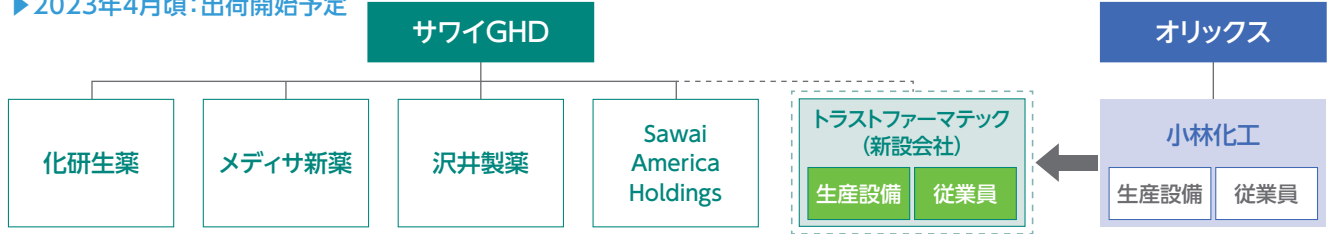
ダサチニブ錠50mg
「サワイ」

～自社生産能力年間200億錠以上の早期確立へ～

トラストファーマテック株式会社 始動

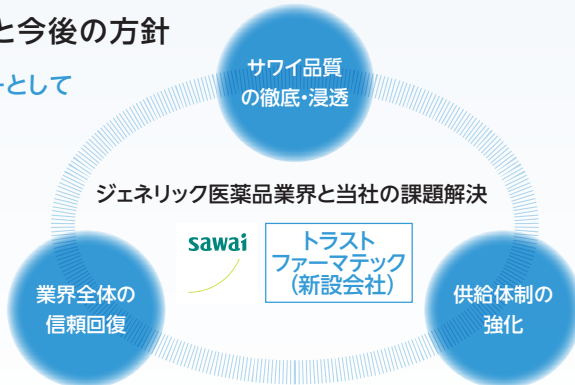
現在、国内ジェネリック医薬品市場では、複数社の薬機法違反に起因する製造停止により供給不安が発生し、ジェネリック医薬品を必要とするすべての人々に安全かつ高品質な製品を安定的にお届けすることが大きな課題となっております。サワイグループにおいても想定を上回る受注をいただき、多くの製品で出荷調整を行わざるを得ない状況になり、需要に応じた製品の安定供給に支障をきたしております。こうした状況下、当社は2021年5月に発表した中期経営計画「START 2024」において、国内ジェネリック医薬品市場におけるシェア拡大のための安定供給力の強化を掲げました。その取り組みの一つとして、サワイグループは、オリックス株式会社および小林化工株式会社より、小林化工株式会社の生産活動に係る資産及び関連部門人員をサワイグループが譲り受けることで合意。新設子会社「トラストファーマテック株式会社」を設立し、設備の譲り受け並びに転籍いただく人材を受け入れることといたしました。本件譲渡契約により自社生産能力を段階的に増強し、200億錠以上の生産体制を早期に確立するとともに、2030年には230億錠以上の安定供給能力の向上を図ってまいります。

- ▶ サワイグループホールディングスの直下にトラストファーマテック（新設会社）を設立
- ▶ トラストファーマテックが小林化工の医薬品製造に係る資産および従業員を譲り受ける
- ▶ 2022年3月末：資産譲受、2022年4月従業員入社
- ▶ 2023年4月頃：出荷開始予定



本件取り組み意義と今後の方針

リーディングカンパニーとして
業界の課題解決、
当社グループの
シェア拡大を実現



- ▶ 中期経営計画で掲げる、シェア拡大の実現
シェア拡大には生産能力の拡大が必須
- ▶ 当社グループ製品を生産する製造設備と
人材の獲得
当社グループ製品の増産に寄与
- ▶ 安定供給責務の法的位置づけ検討を踏まえ、
安定供給体制を実現

沢井製薬

特設ページ「サワイジェンダーアクション」を公開

沢井製薬は、「国際女性デー」※に合わせ、ホームページ上に特設ページ「サワイジェンダーアクション」を公開いたしました。

今回の取り組みのキーパーソンとなったのは、約100年前、澤井薬局を開業した「澤井乃よ(さわいのよ)」の存在です。当時では珍しい女性薬剤師として活躍し、沢井製薬の礎を築いた人物でした。今よりも性差が厳しい時代において、彼女が性別の違いにとらわれず、学び・働き・社会に貢献した精神が沢井製薬の原点となり、「なによりも患者さんのために」の理念への道を創りました。そのようなルーツを持つからこそ、常に高い倫理観を持って、ジェンダーの平等に対しても誠実に考え、行動していくべきであると理解し、今回の活動へとつながりました。

※2022年の「国際女性デー」のテーマは「持続可能な明日に向けて、ジェンダー平等をいま」です。



●特設ページ「サワイジェンダーアクション」

<https://www.sawai.co.jp/sawai-gender-action/>

▶ 会社の概要

(2022年3月31日現在)

社名	サワイグループホールディングス株式会社 SAWAI GROUP HOLDINGS CO., Ltd.
創業	1929年4月1日
設立	2021年4月1日
資本金	100億円
連結従業員数	2,968名
事業内容	グループの経営管理及び関連する業務を担う持株会社
決算期	3月31日

沢井製薬株式会社は株式移転により2021年4月1日付で「サワイグループホールディングス株式会社」を設立し、持株会社体制へ移行いたしました。

▶ 役員

(2022年6月24日現在)

代表取締役会長／グループ最高経営責任者(グループCEO)	澤井 光 郎
代表取締役副会長／グループブランド担当役員(グループCBO)	澤井 健 造
代表取締役社長／グループ最高執行責任者(グループCOO)兼グループ管理統括役員(グループCAO)	末 吉 一 彦
取締役常務執行役員／グループ品質・安全統括役員(グループCQO)	寺 島 徹
社外取締役	小 原 正 敏
社外取締役	東 堂 な を み
常勤監査役	坪 倉 忠 男
社外監査役	友 廣 隆 宣
社外監査役	平 野 潤 一
常務執行役員／グループ生産統括役員(グループCPO)	木 村 元 彦
常務執行役員／グループ研究開発統括役員(グループCRO)	横 田 祥 士
上席執行役員／グループDX担当役員(グループCDXO)兼グループ生産副統括役員	濱 田 輝
上席執行役員／グループ財務担当役員(グループCFO)兼グループ財務部長兼グループ総務部管掌	櫻 井 良 樹
上席執行役員／グループ生産副統括役員	蓮 尾 俊 也
上席執行役員／グループ知的財産担当役員(グループCIPO)	杉 本 信 子
上席執行役員／グループマーケティング統括役員(グループCMO)	西 村 誠 治
上席執行役員／グループ米国事業担当役員兼グループ戦略企画部管掌	中 岡 卓
執行役員／グループ品質・安全統括役員	中 手 利 臣
執行役員／グループ人事担当役員(グループCHRO)兼グループ人事部長	曾 我 一 彦
執行役員／グループ戦略企画担当役員(グループCSO)兼グループ戦略企画部長兼グループ研究開発副統括役員	澤 田 豊 博

▶ グループ会社

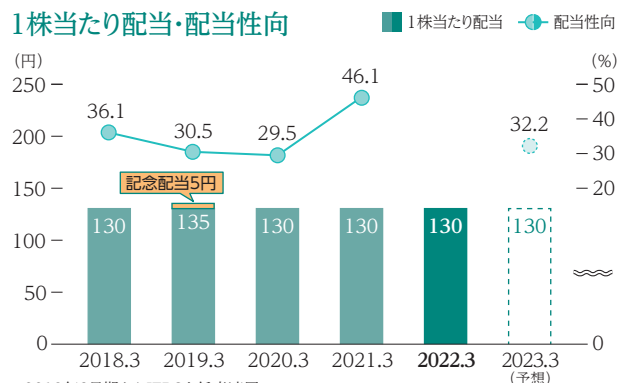
(2022年3月31日現在)

日 本	沢井製薬株式会社	化研生薬株式会社
	メディサ新薬株式会社	トラストファーマテック株式会社
米 国	Sawai America Holdings Inc.	
	Sawai America LLC	
	Upsher-Smith Laboratories, LLC	

成長投資と株主還元

当社は株主還元を経営の重要課題の一つとして位置づけておりますが、成長投資とのバランスに配慮するとともに、毎期の連結業績、配当性向、その他の株主還元策等を総合的に勘案しながら、配当性向30%を目処に安定的かつ継続的な配当を行ってまいります。

1株当たり配当・配当性向



※2018年3月期からIFRSを任意適用

※2021年3月期までは沢井製薬株式会社の実績

※2022年3月期は損失発生により配当性向算出不能

▶ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	毎年3月31日及び中間配当を行うときは毎年9月30日
基準日	定時株主総会については3月31日といたします。その必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	〒540-8639 大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
インターネットホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
よくあるご質問(FAQ)	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal
公告方法	電子公告としております。ただし、事故やその他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ※ 公告掲載の当社ホームページアドレス https://www.sawaigroup.holdings/ir/

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

【未払配当金の支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

※配当金に関する支払調書
※単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
証券会社とのお取引がない株主様
下記のフリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

サワイグループホールディングス株式会社

〒532-0003 大阪市淀川区宮原五丁目2-30

TEL: 06-6105-5818 FAX: 06-6394-7311 URL: <https://www.sawaigroup.holdings>

